

2019年10月25日

各 位

会社名 荒川化学工業株式会社
本社所在地 大阪府中央区平野町1丁目3番7号
代表者名 取締役社長 宇根 高司
(コード番号 4968 東証第一部)
問合せ先 取締役経営企画室長 高木 信之
TEL (06) 6209-8500 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月9日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正

(2019年4月1日～2019年9月30日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	40,500	1,800	2,000	1,250	60円56銭
今回発表予想(B)	36,500	900	1,100	450	21円91銭
増減額(B-A)	△4,000	△900	△900	△800	—
増減率(%)	△9.9	△50.0	△45.0	△64.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	39,501	1,896	2,216	1,425	69円06銭

2. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	82,000	4,300	4,600	3,000	145円35銭
今回発表予想(B)	73,000	2,600	2,900	1,750	86円17銭
増減額(B-A)	△9,000	△1,700	△1,700	△1,250	—
増減率(%)	△11.0	△39.5	△37.0	△41.7	—
(ご参考)前期通期実績 (2019年3月期)	79,501	3,564	3,950	3,890	188円50銭

3. 修正の理由

第2四半期連結累計期間におきましては、米中貿易摩擦の影響などで需要環境が大きく悪化し、電子部品向け材料等の需要が大きく減少したことに加え、水素化石油樹脂の生産拠点を置くドイツのコンビナートが再度停止したことなどに伴う諸コストの増加もあり、第2四半期連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益、純利益ともに前回発表予想を下回る見込みとなりました。

また、通期連結業績予想につきましても、主力の光硬化型樹脂をはじめとする製品の需要環境が急速に改善する兆しが見られないことに加え、ドイツのコンビナートの低稼働が継続していることから、売上高、営業利益、経常利益、純利益ともに前回発表予想を下回る見込みとなりました。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上